

Ⅱ 平成30年度学校経営構想 新上五島町立若松中央小学校

学習指導要領
 豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる児童に、「生きる力」(知徳体)を育むための資質・能力の育成
 ①知識及び技能の習得 (基礎力)
 ②思考力、判断力、表現力等の育成(表現力)
 ③学びに向かう力、人間性等の涵養(実践力)

学校教育目標
 ○郷土 ○意欲 ○表現 ○挑戦

長崎県教育方針
 ・郷土の伝統と文化を継承
 ・豊かな自然を守る
 ・命の尊さや個人の尊厳
 ・公共の精神
 我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成

教育理念
 ふるさとに誇りと愛着をもち、「知」「徳」「体」のバランスのとれた未来に輝く子どもの育成

現状と課題
 ・子どもは、素直で、何事にも一生懸命頑張る。
 ・自分の考えや思いを表現してほしい。
 ・保護者は、子どもが楽しく学校へ通うことを願っている。
 ・保護者、地域共に学校教育へ協力的であり、期待も大きい。

めざす子ども像
若松だいすき やる気いっぱい ゆたかに表現 みんなでチャレンジ
 ・「若松だいすき」ーふるさとに誇りと愛着をもつ子ども[郷土愛] ……郷土愛
 ・「やる気いっぱい」ー進んで学び、基礎基本を身に付ける子ども[学ぶ意欲、基礎基本] ……資質・能力①
 ・「ゆたかに表現」ー考える力、表現する力を高める子ども[思考力・判断力・表現力] ……資質・能力②
 ・「みんなでチャレンジ」ー他者との関わりを大事にして、問題解決に向かう子ども [思いやり、協働、問題解決力] ……資質・能力③

新上五島町教育方針
 『ゆめを持ち、心豊かに、たくましく生き抜く力を育成する』

めざす教師像 『教師は最大の教育環境』
 ○ 子どもへ愛情を注ぎ、使命感に燃える教師 (常に学び続ける力)
 ○ 子どもの成長を保障する教師(専門職としての指導力)
 ○ 同僚・保護者・地域と協働する教師(総合的な人間力)
 ○ 高い倫理観をもち、同僚・保護者・地域に信頼される教師(サービスの厳正)

めざす学校像 『笑顔いっぱい 楽しさいっぱいの笑楽校』
 ○児童にとって 学ぶ喜びを感じ、明日を楽しみに通う
 ○教職員にとって 働きがいと誇りをもつ
 ○保護者にとって 安心し信頼を寄せる
 ○地域にとって 学校・家庭と共育

学校経営方針
 ○学校・家庭・地域が一体となって、子どもの未来を見据えた人材の育成を図る
 ○地域や学校の特性を活かした教育を推進する(へき地教育)
 ○教職員同士の「対話的な学び」を大切にし、自己の資質・能力を高める(チームワークの向上ー「物理的」「精神的」「機能的」の連動)

生 き る 力
 知：確かな学力 ★重点領域ー徳：豊かな心 体：健やかな体

1 学習規律
 (1)学習の構え(5点) (2)ノート指導、板書などの統一

2 授業改善
 (1)「主体的・対話的で深い学び」の実現
(2)基礎基本の定着 (3)思考力・判断力・表現力等の育成 (4)個に応じた指導の充実 (5)ガイド学習

3 補充学習
 (1)ベーシックタイム (2)パワーアップタイム

4 家庭との連携
 (1)学習、生活習慣の確立 **(2)家庭読書の習慣化**

1 人権尊重教育
 (1)いじめ見逃し「0」、不登校への対応 (2)言葉の醸成
 (3)あいさつ、返事 (4)縦割り活動

2 道徳教育
 (1)命を大切にする心の育成 **★最重点取組ー(2)思いやりの心の育成**

3 特別支援教育
 (1)特別支援委員会 (2)子どもの特性に応じた指導

4 夢や憧れを抱く
 (1)伝記本の読書奨励(4年生以上を主)
 (2)本物にふれる機会

1 体力づくり
 (1)体育の授業改善、運動・遊びの生活化 **(2)自主的な体カづくり**

2 保健指導
 (1)望ましい生活リズムの定着 (2)むし歯予防、治療
 (3)学校保健委員会との連携 (4)感染症拡大防止

3 食育指導
 (1)栄養教諭を招いての指導 (2)給食指導

ふるさと教育 [郷土愛]
 1 地域、関係機関と連携した体験活動 2 ふるさと学習の推進 **(1)地域の様々な「ひと・もの・こと」の活用**

1 開かれた学校「進取」
 (1)情報発信
 (2)学校支援会議「わかし子育て会」
 (3)学校評価による学校改善

2 PTA活動「パートナー」
 (1)専門部会
 (2)地域交流行事
 (3)学級懇談会

学校・家庭・地域連携の推進 『我が学び舎に栄えあれ』
3 地域との連携
「地域を元気にする学校」「地域に応援される学校」
 (1)安全・安心な学校づくり (2)地域貢献活動
 (3)登下校での事故防止(安全パトロール)

